

令和7年6月6日

養父市議会議長 谷垣 満 様

生活環境常任委員会
委員長 浄 慶 耕 造

生活環境常任委員会調査報告書

閉会中において、本委員会の所管事務につき調査したことを次のとおり報告する。

- 1 調査年月日 令和7年5月13日（火）
- 2 調査内容 マイクロツーリズムの視点から見た養父市の魅力について
- 3 調査内容

上記のテーマで、養父市を代表する景観である別宮の棚田を視察し、課題を確認した後、商工観光課から資料の提供と観光政策について聴取を行い、調査を行った。なお、やぶ市観光協会も同席し報告を受けた。

マイクロツーリズムとは「家から1～2時間で行ける地元や近場での観光」を意味する言葉である。海外や国内の遠方での旅行に比べると小規模であり「小さな旅」を表すことから、マイクロツーリズムと呼ばれる。気軽に旅行でき、地域経済にも貢献し、サステナブルツーリズムの一形態として人気を博している。

養父市の観光地はスノーリゾートを除けば、「小さな旅」として訪れるところがほとんどであり、マイクロツーリズムとして魅力ある観光地を形成することが重要と考えられる。この視点から調査を実施した。

これまで全但バス(株)等を実施主体とし、ツアーを行ってきた。例えば平成26年には四季体感ツアーとして、神戸・明石を発着点とする「天滝ミニトレッキング」「本場で味わう但馬牛」「しめ縄づくりと味噌仕込み教室」などを企画したが、不催行もしくは少人数の参加者に終わっている。また令和5年のYBファブの「ピアノコンサートと八鹿の街並み散策」の1泊ツアーも不催行となった。都市部を発着とするバスツアーは価格帯が高くなることで、マイクロツーリズムとはマッチしないことが窺われた。しかし、「春の山菜ツアー」には多くの問い合わせがあるなど、体験型観光の素材も含めて、市内の観光資源のポテンシャルは十分あることが確認された。

また映画「レジェンド&バタフライ」の杉ヶ沢高原や「ガンニバル」が大庄屋記念館で撮影されたことから映画のロケ地としてPRしていること

の報告もあった。

養父市の観光客の多くは、市観光協会のホームページやSNSで発信される情報をもとにマイカーで訪れる。交通機関を利用する観光客やマイカーを乗り換えて観光をしたいと考える人にとって、二次交通（着地後の交通）の利便性は必須である。養父市の観光地はほぼ路線バスの対応はできないため、やぶくると定額観光タクシーを準備している。やぶくるとは地域規制を緩和して八鹿駅発着を実現した。定額観光タクシーは2日前までの予約を必要とするが、普通車の他にジャンボタクシー（9人乗り）を準備しており、旅行者の利便性に配慮されている。利用件数は令和5年まで年々増加してきたが、令和6年度は利用ルールを適正に運用することによって大幅な減少があった。

「小さな旅」にとってガイドの存在は観光客の満足度を高める大きな要素である。養父市内の観光施設・体験施設のガイド（案内・説明・指導員）は、そもそも施設が地域によって保全されており、個人・グループの活動拠点であるため、その人材はある程度確保されている。市観光協会も昨年、将来的な地元ガイドの育成を目的とした「但馬検定」の認定者を5人輩出しており、準備は前に進んでいる。ただ、基本的にはボランティアであり、高齢化も進行している。今後若手参入のためには有償の仕組みが必要となる。

（まとめ）

市は観光入込客数 200 万人を目標（まちづくり計画・令和5年度実績 113 万人）に政策を進めてきた。市観光協会のPR・プロモーション事業によって、新規の需要開拓も行われており、少しずつ前進がみられる。しかし当委員会が一昨年視察した大田市や朝来市のような観光基本計画を市は持っていないため、戦略的な推進が遅れている。観光産業は旅行事業者、交通、宿泊、飲食、土産、ガイドなどすそ野が広い。これらを結集しながら観光計画の作成に着手されたい。

観光地としての養父市を考えた場合、二次交通の整備や食事の提供など、課題は多い。これらの観光インフラの形成は一朝一夕にできるものではない。

しかし、時を定めて誘致すれば顧客満足度を高めることはできる。コストを抑えた着地型のツアーの企画などは有効ではないだろうか。映画ロケの招致の取組みはそれを示唆している。

ツアーの企画は旅行業法の下で実施される。したがって市と観光協会、旅行業者の役割分担と連携が必須である。観光客を受け入れるための3者での共同研究や企画会議の実施に取り組まされたい。

養父市は自然、文化、伝統、建築や農業などの産業資産を含めて、訪れる人に癒しや満足を与える資源を持っている。それらをマイクロツーリズムの視点で生かさなければならない。市民が守ってきた景観や伝統と、人々が集うイベントに、観光として他者を迎え入れる仕組みこそが求められるところである。